

令和4年1月7日  
危機対策課原子力安全対策室  
室長 河合 宏文  
県庁内線 4310  
外線直通 076-225-1465

「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」  
に基づく連絡（令和3年12月分）について

本日、北陸電力(株)から「連絡基準に係る覚書」連絡区分Ⅲ（定期的に連絡するもの）（令和3年12月分）に該当する事象として、以下の連絡があった。

志賀原発1号機 タービン補機冷却水系配管からの冷却水の漏えいについて

12月10日、志賀原子力発電所1号機において、屋外にある循環水ポンプのモーターの軸受に冷却水を送る配管から冷却水が漏えいした事象があった。

冷却水の漏えいの原因は、配管の外面からの腐食によるものと推定。

漏えいした冷却水には、放射性物質は含まれておらず、本事象による外部への放射能の影響はなかった。

連絡区分Ⅲ：原則として翌月10日までに連絡するもの

参 考：北陸電力HP <http://www.rikuden.co.jp/press/atomic.html>

# 志賀原子力発電所 1号機

## タービン補機冷却水系配管からの漏えいについて

志賀原子力発電所 1号機（第13回定期検査中）において、2021年12月10日（金）20時頃、タービン補機冷却水系<sup>※1</sup>（以下「TCW系」という。）のサージタンク<sup>※2</sup>水位が低下していることを運転員が確認しました。

TCW系を調査したところ、屋外にある循環水ポンプ<sup>※3</sup>（A）のモーターの軸受に冷却水を送る配管から冷却水が漏えいしていることを発見しました。

TCW系を停止して漏えいを止め、その後、当該配管の閉止措置を施した後、TCW系を再起動しました。

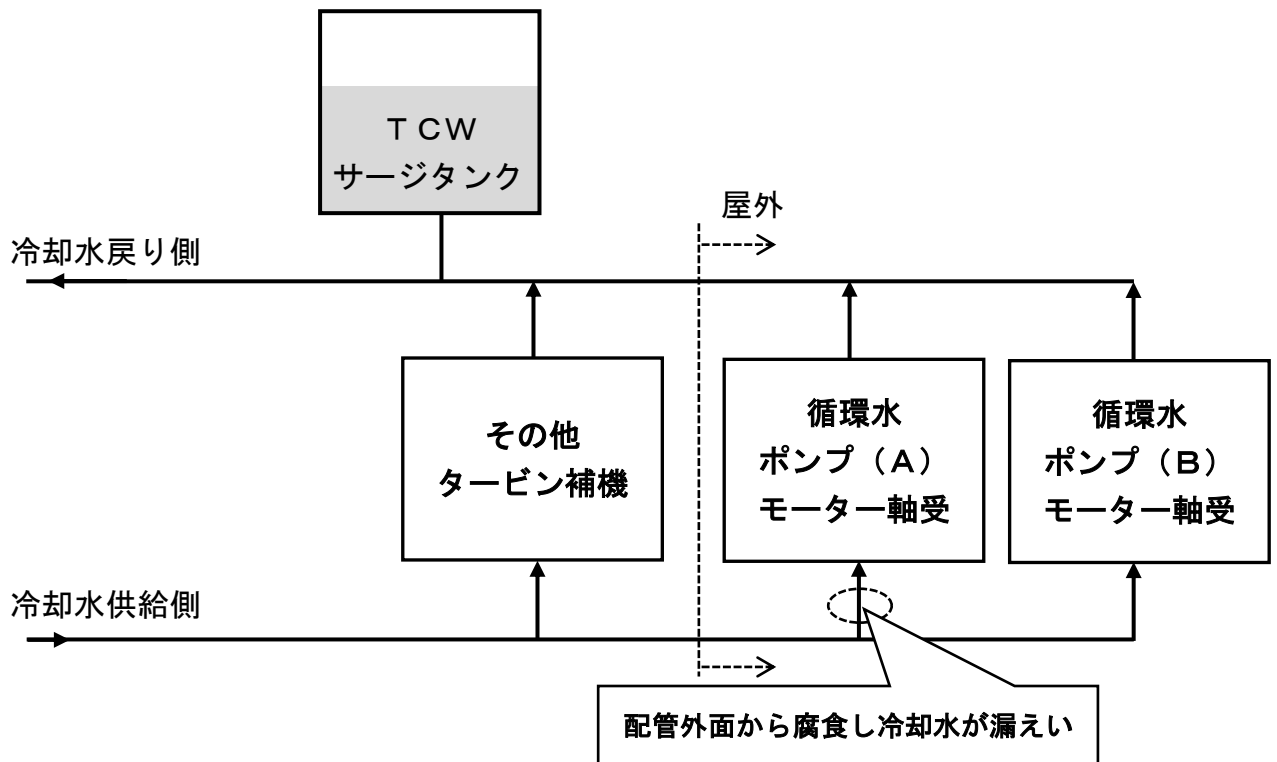
調査の結果、当該配管を包む保温材の隙間から雨水が浸入して配管が外面から腐食し、漏えいに至ったものと推定しています。

なお、漏えいした水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。

※1 タービン関連の補機（ポンプ、モーター等）に冷却水を供給するための系統

※2 TCW系冷却水の温度変化による膨張・収縮の吸収等を行うためのタンク

※3 復水器に冷却水（海水）を供給するポンプで、プラント起動前まで運転しない



TCW系概要図